

## 「動物愛護管理センター」ってどんな場所？

動物の愛護及び管理に関する法律（動物愛護管理法）に基づき、各都道府県では動物愛護センターを設置し、動物愛護管理担当職員を配置しています。

動物愛護管理センターでは、県民の安全や公衆衛生に基づいた「動物管理事業」と、人と動物のより良い関係づくりに向けた「動物愛護事業」を行っています。すべての施設が入場無料なので、ぜひご利用ください。



## ●ドッグラン

溜池を改修した自然あふれるドッグラン。飼い主や愛犬たちの交流の場となっています。登録後、無料で自由に使うことができます。



## ●ふれあいサークル

親子で楽しく参加できる「動物ふれあい教室」（第2・第4土曜日 午後1時15分～）や「しつけ方相談」（第3日曜日 午前10時～）を開催しています。

## ●動物管理事業

- 放浪犬の収容・保護
- 負傷動物の保護と治療
- 動物取扱業の登録
- 収容動物の返還 など

## ●動物愛護事業

- 動物愛護の幅広い啓発
- 動物ふれあい教室の開催
- 夏休み1日体験教室の開催
- 犬のしつけ方や動物飼養の相談
- 飼い主をさがす会・講習会の開催 など

## ペットと防災

## 災害時のペット対策ガイドラインを策定しました

災害発生時には、飼い主が自身の安全を確保した上で、ペットとともに同行避難をすることが基本です。避難所への同行や在宅避難などを想定し、日頃から準備をしておきましょう。

## ●災害前の対策（一例）

- 人やほかの動物を怖がらないようにしておく
- ペットフードやトイレ用品などの確保
- 各種ワクチンの接種や寄生虫の駆除
- 身元証明のマイクロチップを埋め込む など



## ●災害時の行動（一例）

- ペット用の避難用品を持って避難所へ向かう
- 避難所のルールに従って世話をするなど

詳しくはこちら

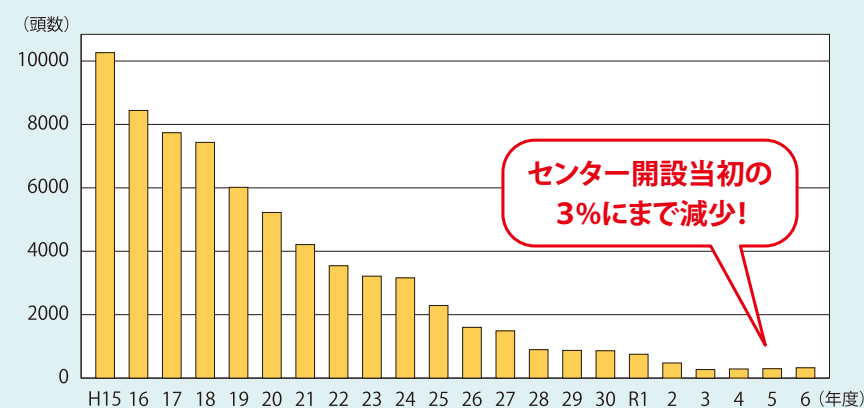


【問】徳島県動物愛護管理センター ☎088-636-6122 ☎088-636-6123

詳しくはこちら



## 1匹でも多くの命を救うために



徳島県における犬猫の殺処分状況（自然死含む）

県民の方々や警察、市町村等からの収容依頼を受けることにより、動物愛護管理センターが「狂犬病予防法」および「徳島県動物の愛護及び管理に関する条例」に基づいて、捕獲収容・保護を行っています。

近年の犬猫の殺処分頭数は徳島県動物愛護管理センターの開設当初（平成15年）の3%にまで減少しています。

## 不幸な命を増やさないために



無責任にエサをあげるのはやめましょう。  
餌やり行為により野良犬が増えます！

「野良犬を見つけたら、まずは所管の保健所や当センターに連絡してください。人に慣れるための訓練を行う」

「飼い主のいない犬や猫は、餌をあげると、居着く。オスとメスが出会い繁殖する。繰り返して状況が悪化！人や畑などに危害を加える。」

「野良犬を見つけたら、まずは所管の保健所や当センターに連絡してください。人に慣れるための訓練を行う」

「犬を飼う際に定められている法律や条例をしっかりと守ることも重要です。たとえば、飼い主は市町村に犬を登録し鑑札をつけ、年1回の狂犬病予防注射を受けさせることが義務付けられています。また、徳島県の条例では、屋外では必ずリードをつけることが定められています。」

「私たちの願いは、飼い主のいない犬や猫が1匹でも少なくなることです。愛情いっぱい育てられた動物が、飼い主と幸せを分かち合う姿をもっと増やしていければ」とお二人。

一人ひとりが意識を高め、最低限のルールを守れば、人と動物の未来はもっと輝くはずです。

## ルールを守ることが、大切な命を守る一歩になる。

## 命のバトンを みんなでつなごう

神山町にある「徳島県動物愛護管理センター」は、動物の愛護や管理に関する法律に基づき、徳島県が運営する施設です。動物の保護や譲渡、愛護活動などを通じて、「人と動物がともに暮らせる徳島」の実現を目指しています。

「狂犬病予防法や公衆衛生の観点から、どうしても放浪犬の保護・収容や遺棄された犬猫の引き取りが必要になります。そうした動物たちの命を救うため、近年は県外への譲渡事業にも力を入れています」

そう語るのは、同センターの藪内園子さんです。センターが開設された2003年には、犬猫の処分合計頭数が1万頭を超えていましたが、近年では約300頭にまで減少しているといいます。

「ここまで減らすことができたのは、行政の取り組みだけでなく、ボランティアの方々の協力や県民の皆さんの意識向上によるものです。しかし、徳島は野生動物が暮らしやすい温暖な地域であることに加え、野良犬へ餌を与えたり、飼い犬を放し飼いにする方もいることで野良犬が増え、その結果、犬の殺処分頭数は全国でもワーストクラスです。今まで以上に啓発活動強化し、『殺処分ゼロ』に向けて取り組んでいきたいと考えています」

徳島県動物愛護管理センター主任の、藪内 園子さん(右)と赤星 啓さん(左)。

同センターでは、譲渡会や、ボランティアとの協働による譲渡事業を通じ、県内で保護された犬猫の譲渡を全国へと拡大。人と動物のより良い未来に向け、命のバトンをつないでいます。

## 無責任な行動が動物の命を奪う

動物たちの大切な命を守るために、私たちにできることは何か。その答えを、同センターの赤星啓さんは次のように語ります。「犬や猫を飼っている方は、最後まで愛情と責任を持って飼うことが求められます。また、飼い主のいない犬や猫については、無責任な餌付けによって増やさないことが何より重要です」

「かわいそうだから」という理由で餌付けをすると、動物たちが繁殖し、畑を荒らしたり人に危害を加えたりするケースが増え、結果としてセンターに保護・収容されることにつながるといいます。

「野良犬を見つけたら、まずは所管の保健所や当センターに連絡してください。人に慣れるための訓練を行う」

## 犬を飼う上で守ること

## 【国の法律】

- 犬を市町村に登録し、鑑札をつける
- 年1回・狂犬病予防注射を受け、注射済票をつける

※違反すると20万円以下の  
罰金が課される事例も！

## 【徳島県の条例】

- 公園や河川敷を含め、必ずリードをつけて散歩する。



## がん検診、歯科健診を受けましょう！

日本では「2人に1人」が、がんになります。徳島県でも毎年約6,000人が「がん」と診断されています。しかし、「がん」は早期発見・早期治療で生存率が高くなります。9月は「がん征圧月間」です。「怖い」「面倒くさい」「自分は大丈夫」と言わず、**自分のため、大切な家族のためにがん検診を受けましょう！**

そして、いつまでも健康的な生活を送るために、**歯科健診**も定期的に受けましょう！

- がんを早く見つけるために  
徳島県のがん対策  
関連情報



- 徳島県職域がん検診  
受診体制整備奨励金  
について



- 歯科定期健診のすすめ  
徳島県口腔保健  
支援センターより



【問】県健康寿命推進課 ☎088-621-2223 ☎088-621-2841

## 徳島県がん征圧共同宣言

私たちは、次のとおり「がん対策」を強力に推進します。

①がん検診や「がん相談」の普及を促進する

②がん予防や早期発見・早期治療の推進を図る

③がん治療の普及を図る

④がん対策の推進を図る



「徳島県がん征圧共同宣言（R7.7.2）」を行いました！

## TOKUSHIMA ODORI FESTA 2025

熱狂の2日間がやってくる！

徳島おどりフェスタ  
2025 開催決定！

●開催日／2025年11月1日(土)、2日(日)

●場所／徳島市・新町橋通り周辺

有名による圧巻の阿波おどりはじめ、「ふるさとカーニバル阿波の狸まつり」のほか、食やスポーツなど周辺の様々なイベントと連携します。サンリオの人気キャラクターによるスペシャルパレードや、眉山上空を彩る幻想的なドローンショーも予定しています。新たなコンテンツが決まり次第、順次お知らせしますのでご期待ください！

●11/1(土)

阿波おどり(舞台おどり)

●サンリオキャラクター・グリーティング

●ドローン・ショー

●11/2(日)

阿波おどり(流しおどり)

全国阿波おどりコンテスト

●サンリオスペシャルパレード

【問】県観光企画課

☎088-621-2342 ☎088-621-2851



## クイズ&amp;プレゼント

9/20～9/26は〇〇愛護週間  
〇に入る文字は何でしょうか。

抽選で5名様

## ●プレゼント

【新米】あきさかり2kg

[提供] JA全農とくしま

徳島県の水稲奨励品種であるあきさかりは、程よい粘りとほのかな甘み、食味の良さに加え、やや大粒で粒感があり白度が高いお米です。おにぎりや炊き込みご飯にするとふっくらとして美味しくいただけます。今年も新米が出ました、ぜひご賞味ください。

## ●応募締切

9月24日 必着

8月号の正解は「マッチ」でした。

●応募方法 答え、住所、氏名、年齢、感想、取り上げて欲しいテーマなどを記入の上、はがき(宛先は「県知事戦略局クイズ&プレゼント係」)、Eメール(宛先は表紙下部に記載)、または県公式LINEのメニューからご応募ください。



応募はこちら